

電子@連絡帳でできること

この資料では、電子@連絡帳の強みをピックアップして紹介しています。

事業所等によって活用方法や頻度は異なると思いますが、誰にでも便利と感じてもらえるような機能も搭載しているので、全ての事業所等で活用していただければと考えています。

（H30実施の利活用アンケート結果からも、さらなる利便性向上のためには、全ての事業所等で活用してもらいたいという声が多く出ています。）

きっと、今よりも関係多職種間での連携がとりやすくなったり、スタッフさんたちの負担が減ったり、使い慣れていく中で、大きなメリットが感じられると思います。



- 1 “**伝え忘れ**”がなくなります。
- 2 チームメンバーとの**タイムリーな情報共有**ができます。
- 3 **画像や動画の添付でわかりやすい情報共有**ができます。
- 4 **FAXでの誤送信や送信確認の手間、紙代**などがなくなります。
- 5 **関連書類整理の煩雑さ**が軽減されます。
- 6 会議等での**データ受け渡し**などでも活用できます。

1 “伝え忘れ”がなくなります。

いつでも、どこでも、相手に負担をかけることなく自分の都合で時間を気にせずやりとりできるので「伝え忘れ」がなくなります。（緊急の場合は従来どおり電話対応）

- ・ 日中連絡の取り難い職種との連絡がスムーズにできる！
- ・ 相手の時間を気にせずタイムリーに情報共有できる！



今、連絡していいかな・・・？



言うのを忘れてしまった・・・

2 チームメンバーとのタイムリーな情報共有ができます。

あらかじめ設定しておいたメンバーと、タイムリーに、一斉に情報共有できるので、情報が整理しきれていなかったり、不足があるような場合でもチームでフォローが可能となります。また、相手が閲覧したかどうかの確認もできます。もちろん、1対1のメール機能にも対応しています。

- ・ チームなら、文章の間違いや不足事項があってもフォローし合える！
- ・ 事業所・部会の情報を一斉に送信・共有できる！
- ・ 閲覧状況の確認もできる！
- ・ メッセージ機能で、個別でも連絡できる！



3 画像や動画の添付でわかりやすい情報共有ができます。

画像や動画の添付も可能で情報が伝えやすく、他の職種との連携がしやすくなります。



- **F A Xよりも画像が見やすいから利用者の状態・状況が把握しやすい！**
- **口頭の説明よりわかりやすい！**
- **前もって介助・支援方法が計画しやすい！**
- **あらかじめ情報共有できていることで患者・家族の負担も減るうえ、ケアの向上につながる！**

4 F A Xでの誤送信や送信確認の手間、紙代などがなくなります。

F A Xみたいにかさばらず、紙代もかからないうえ、外部への誤送信リスクがなく、送信確認の手間も不要です。



- **F A X 誤送信の心配がない！**
- **F A X 送信確認の電話が要らない！**
- **書類紛失の心配がない！**

書類が見つからない！



FAXちゃんと届いたかなあ？

5 関連書類整理の煩雑さが軽減されます。

**「文書タグ」の活用で関連文書の整理がとっても楽に！
書類整理の手間が減ります。**



- **「文書タグ」で関連するやりとりを串刺し表示！**
- **関連するやりとりの過去の状況が一目で分かる！**

あの問題って、みんなは
どんな意見を言っていた
んだっけ？



褥瘡について、以前
はどんな支援をして
いたのかな？

6 会議等でのデータ受け渡しなどでも活用できます。

同職種内や他の職種との情報交換や会議の事前・事後フォローなど、データの受け渡しにも活用できます。



- ・ 閲覧履歴もあって、資料や様式の受け渡しに便利！
- ・ タイトルとメンバーを決めるだけで、気軽に意見交換できる場所が作れる！

在宅患者のチーム支援
以外にも使えるぞ！



業務に関連するイベント
情報も集約されているな。

<問い合わせ先>

豊川市福祉部介護高齢課
地域包括ケア推進係

電 話:0533-89-3179

F A X :0533-89-2137

メー ル : zaitaku@city.toyokawa.lg.jp